

いましめ

きまり

道路を歩くときには、どんなきまりがあるか考え
て、次の空白に書いて下さい。

イエスさまはいましめを^{あた}与える

イエスさまは、いましめや、掟をどのよう^{かんが}に考
えていたのでしょうか。

まず、神さまを愛しなさいと言われ^います。神さま
を信じる人なら、誰でも言うこと^いです。まず、神さ
まを信頼^{しんらい}することが大切^{たいせつ}です。どんな困難^{こんなん}や、苦し
いことがあっても、神さまがかならず、勇気^{ゆうき}づけ、
力^{ちから}をくださいます。

つぎに、イエスさまは隣人^{りんじん}を愛しなさいと言われ^い
ます。イエスさまの時代^{じだい}には、いましめや、掟^{おきて}が
ほかにたくさんありました。しかし、イエスさまは、
それらのいましめよりも、まず、隣人^{りんじん}を愛しなさい

と言われたのです。

イエスさまが、当時の社会の中で、罪人と呼ばれている人たちと食事をされたり、ともにすごだれて

いるの見て、律法学者たちは、このようなイエスさまの行動を非難しています。

それに対して、イエスさまは、「医者が必要とするのは、じょうぶな人ではなく、病人である。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」と答えられました。

イエスさまは、このようにして、いましめを守れ

ない人をただ非難して、罪人のようにあつかうので

はなく、隣人として、つきあうように教えています。

神さまに信頼することは、一人ひとりのうちに神

さまがいることを信じることであり、どんな人にも

神さまがともにいて、いつも力づけられているこ

とを思いおこす必要があります。どんな人も、神さ

まの目から見たら、神さまの子どもなのです。

